

# 平成19年度「魅力ある活動支援事業」実施状況

## 進路案内本・小論文用テキストの充実とそれらを利用した進路指導や小論文指導

図書館内の小論文や進路選択に役立つ書籍、新書を集めたコーナーを充実させ、誰でも常時利用できるようにしています。また、ホームルーム・授業等でも利用し、自らの進路を見つめ視野を広め、深め、それらを確実なものにする手助けとなっています。

大学等でも論ずる力が必要とされ、小論文は入学試験等でも重視されています。1年次から自分の進路を決定する上で、職業や学ぶ学部学科について必要な情報を集め、関連した資料を読み、研究していくことが必要となっており、内容の多様化にあわせ資料の更新も大切となっています。また、小論文模試等も行われているため、その学習にも役立てられています。

進路調査や試験の参考資料としてよく利用されています。また、過去に実施したアンケートで、多くの生徒が進路に関しての情報を必要としている事がわかりました。このような場所を充実することは、早い時期から進路に関する情報を収集でき、学習に生かしていくことが出来ると思います。



## 広報情報誌「清水ヶ丘便り」の発行

15年度より発行し、現在18号まで発行しています。

A3表裏4面カラー版で製作。年間3回の発行を予定しています。発行部数は1,500部、構成は(1面)出来事や入試等の情報、行事予定(2面)スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の様々な取組みの報告と予定(3面)進路室便り、教科・学年便り(4面)学友会(生徒の編集、制作)を基本に作成しています。

中学生、地域住民、保護者、学校関係者、などに、本校の特色ある取組みや生徒の活動の様子及び学校自己評価に係る説明などを伝えています。本校への理解を深め、意見を寄せていただき、学校運営に反映させたいと考えています。

1号から18号までをPDF形式で掲載していますのでご覧ください。

## 外部講師活用授業(音楽)

| 概要内容            | 講師名              | 実施日  | 内容   |
|-----------------|------------------|--|--|
| 箏曲の歴史や奏法の講義及び実習 | 生田流箏曲<br>瀧口舞衣子先生 | 平成19年<br>12月4日(火)~<br>12月6日(木)<br><br>内訳<br>1年3講座 1時間<br>2年2講座(文系)<br>1時間<br>3年1講座 2時間 | 昨年度から東京芸術大学邦楽科をご卒業され、現在箏曲生田流のプロの演奏科としてご活躍の瀧口舞衣子先生に社会人講師を依頼し、一流の生演奏に触れると共に、1年生は「さくら」(2部合奏で)2、3年生は宮城道雄作曲「六段の調べ」の一段の部分の演習を行いました。生徒の大半は箏に触れるのは初めてでしたが、受講後は殆どの生徒が箏に親しみを感じ、意欲的に取り組んでいました。なお箏は11面を近隣の高校よりお借りしました。 |